

TUFREQ

NISSAN ADバン／エキスパート
SUBARU レオーネバン
MAZDA ファミリアバン

専用ルーフキャリア

HF232D 取扱説明書

適 応 車 種	型 式	年 式
NISSAN ADバン(全車)	Y11	1999年 6月～2008年 12月
NISSAN エキスパート(ルーフレール無車)	Y11	1999年 6月～2007年 1月
SUBARU レオーネバン(全車)	Y11	1999年 6月～2000年 12月
MAZDA ファミリアバン/ファミリアビジネスワゴン(全車)	Y11	1999年 6月～2006年 12月

はじめに

このたびはTUFREQルーフキャリアをお買い上げいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書は、お客様に常に本製品を最良の状態でご使用いただくため又、正しく理解いただくためのものです。本製品をお使いになる前には、必ずこの取扱説明書をお読みください。
この取扱説明書は、ご使用になる方がいつでも読むことができるように大切に保管してください。
この取扱説明書について、ご不明な点がございましたら記載のお問い合わせ先にご連絡ください。





目次

●はじめに.....	1	●車両への取付.....	17～22
●必ずお読みください.....	2	1.車両取付位置周辺の清掃.....	17
本書に記載する記号について.....	2	2.キャリア取付位置の加工.....	17
ご注意とお願い.....	2～5	3.車両へのフック取付.....	17
●取付完成図.....	6	4.キャリア取付(Ⅰ).....	18
●使用工具の準備.....	6	5.キャリア取付(Ⅱ).....	18
●構成部品の確認.....	7	6.車両への取付(後脚).....	19
●組立手順.....	8～16	7.車両への固定(後脚).....	19
1.組立準備.....	8	8.車両への固定(前/中央脚).....	20
2.クッションプレートの固定.....	9～10	9.キーロック方法.....	21
3.クッションベース取付.....	11	10.脚カバーの取付.....	22
4.フレーム角パイプと脚Assyの組立.....	11	●取付後の確認.....	23
5.フレーム角パイプと脚Assyの固定.....	12	●取扱方法.....	23
6.脚取付幅の測定.....	13	●取扱上の確認事項及び注意事項.....	24
7.脚Assyの組付とフレームパットの貼付.....	14	●取外方法及び保管.....	25
8.横枠Assyの組立.....	15	●再取付時の注意.....	26
9.横枠Assyと前後枠パイプ・フレーム角パイプ組付.....	16	●お問合せ先.....	26
10.床板の組付.....	16		

必ずお読みください

本書に記載する記号について

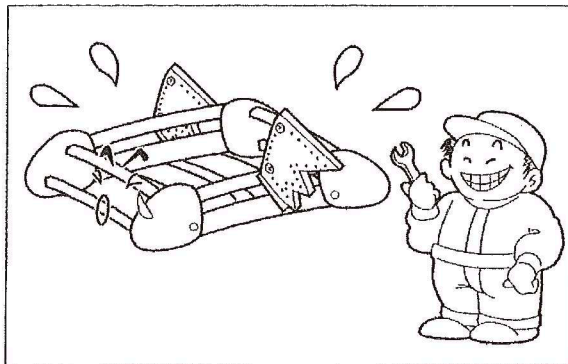
本書では、特に重要な事項や知っておいていただきたいことを、記号を用いて説明しております。それぞれの記号とその内容は次の通りです。

 警告	安全のため必ず守って頂きたいこと 守らないと生命に危険または重大な損害につながるおそれがあります。
 注意	安全のため必ず守って頂きたいこと 守らないと損害または事故につながるおそれがあります。
 アドバイス	お車のため必ず守って頂きたいこと 守らないと車両損害につながるおそれや正規機能を確保できないことがあります。
 知識	快適にお車を使っていただくために知っておいていただきたいこと。

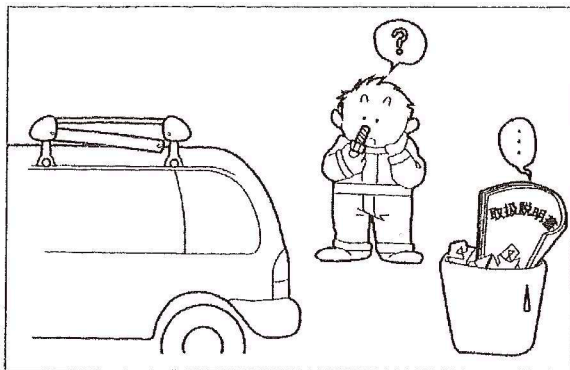
ご注意とお願い

本製品を安全に正しくご使用いただくために、次のことを必ず守ってください。

警告



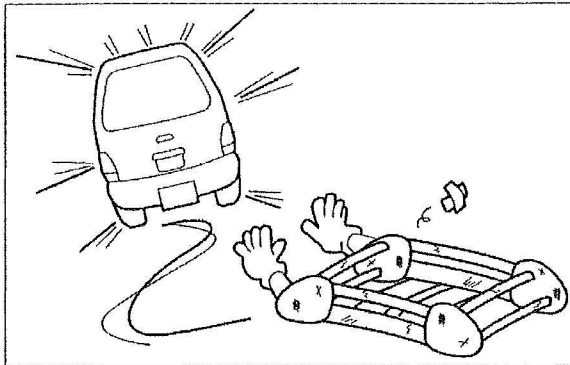
本製品を改造しての取付けは、絶対に行わないでください。



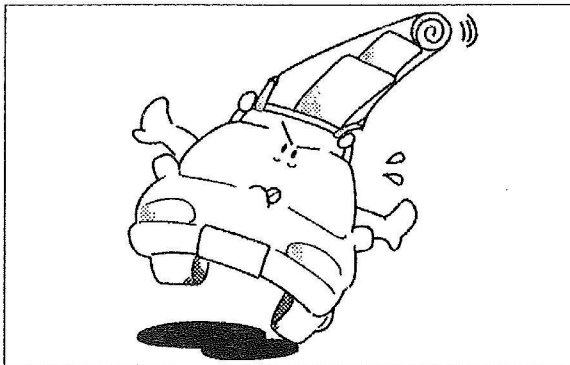
本取扱説明書に記載されていない取付け及び、使用方法は絶対に行わないでください。

⚠警告

ルーフキャリアを取付指定位置以外に取付けると、固定力不足によりルーフキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。ルーフキャリアは、必ず取付指定位置に取付けてください。

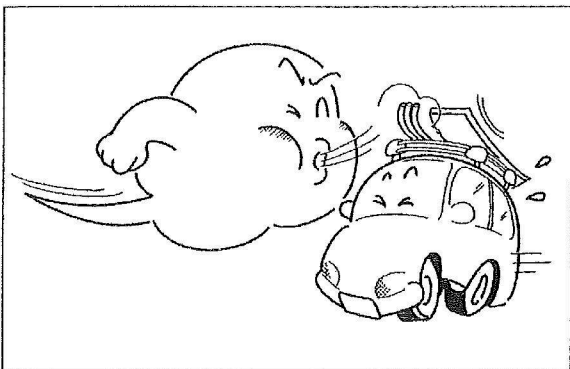


法定速度を超えた連続高速走行や強風時の連続走行、悪路走行をしますと、各締付け部のボルト類のユルミが発生し、ルーフキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。法定速度を守り、強風時や悪路では速度を落としてください。



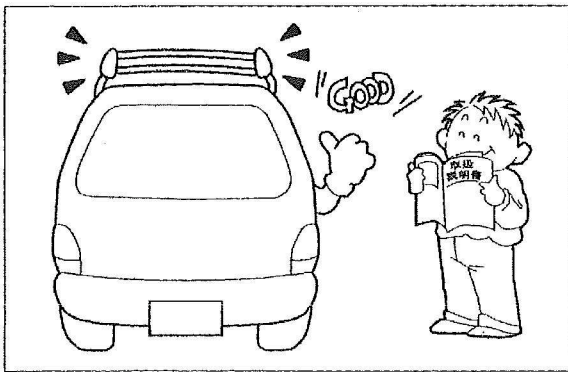
本製品には、最大積載量の制限があります。最大積載量を超えた積載をしますと、ルーフキャリア及び車両の破損、過積載による荷物の脱落等の事故の原因となりますので、最大積載量は必ず守ってください。

⚠注意

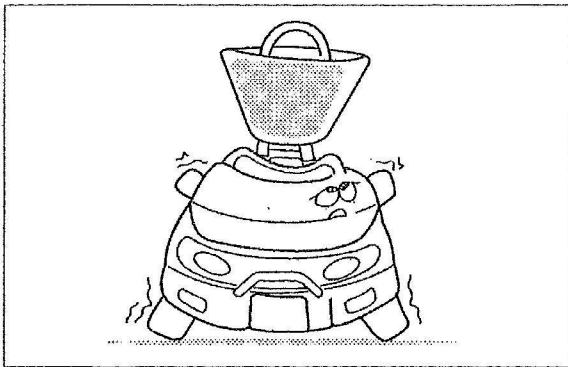


ルーフキャリア装着時の急ハンドル、急発進、急ブレーキは避け、運転には充分ご注意ください。特に急ブレーキや悪路走行、強風を受ける場合は、運転特性を損なうことがありますので、スピードは十分に抑えて走行してください。

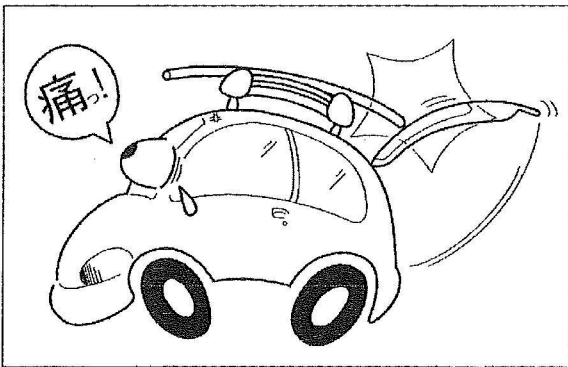
⚠️注意



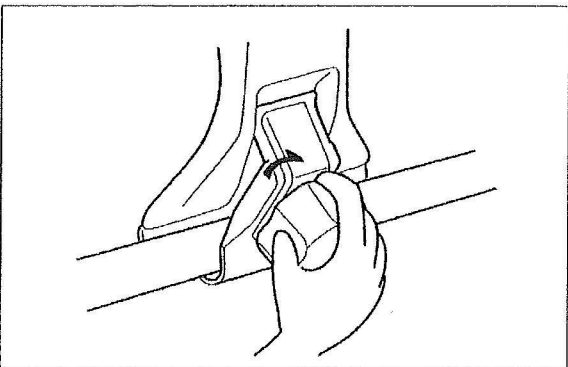
ルーフキャリア装着時の走行にて積載物のズレ、又は脱落が発生すると非常に危険です。積載物は本書に記載の指示に従って、確実に固定してください。



車両に装着したルーフキャリアに無理な力が加わった場合、ルーフキャリアが脱落し、車両が破損するおそれがありますので、トンネル・立体駐車場等の高さ制限のある場所では、ルーフキャリア、及び積載物の分だけ全高が高くなっていますので、制限内であることを確認の上、進入してください。



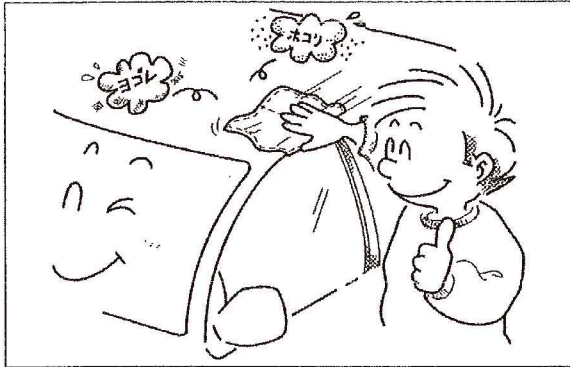
長尺物の積載時に、トランクリッド及びバックドア開閉の際、積載物と干渉し、車両にキズを付けるおそれがあります。トランクリッド及びバックドア開閉は、積載物を降ろしてから行うようにしてください。



各締付部は、ユルミが発生するおそれがあります。ユルミが発生しますと、ルーフキャリアの脱落、車両の破損等の事故の原因となりますので、本書記載の指定トルクを参考に固定をし、更に定期的（100km走行毎を目安）にボルト類の締付け具合及び吊金具等の掛かり具合を点検し、必要に応じて増締めをしてください。

特に悪路、高速走行前後には、必ず点検してください。

⚠️ 注意



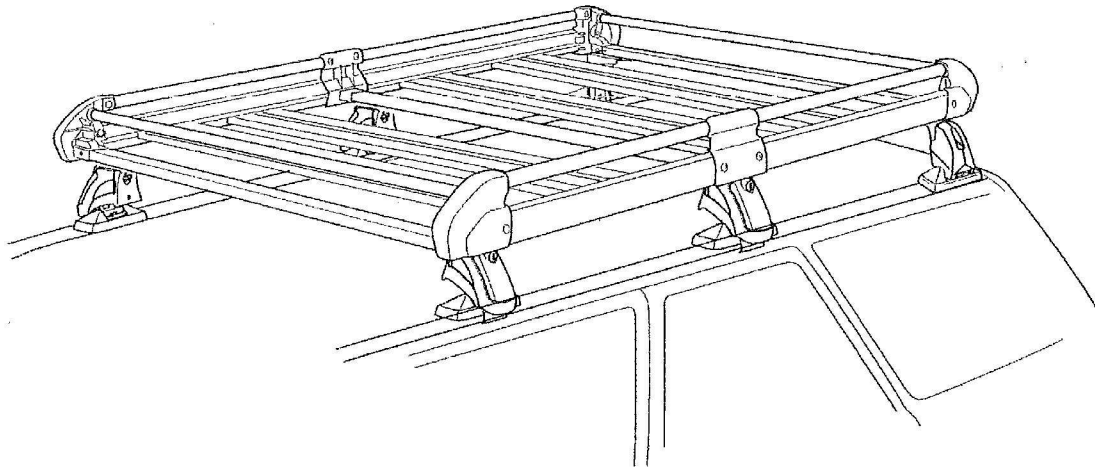
ルーフキャリアを取付ける際、取付部に砂・ホコリ等が付着していると、車両を破損するおそれがあります。ルーフキャリアの取付けは、取付部の汚れをきれいに落としてからにしてください。



ルーフキャリア装着時、自動洗車機は使用しないでください。自動洗車機に入れる場合はルーフキャリアを外すか、手洗いをしてください。

- 本製品の取付け、取扱い内容につきまして、ご不明な点がございましたら商品購入先の販売店にお問い合わせいただき、ご理解された上でお取扱いください。
- 記載事項を守らなかったために発生した不具合につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

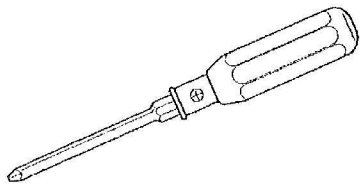
取付完成図



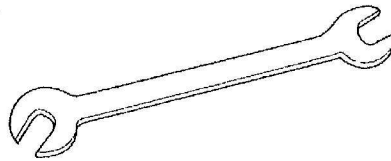
使用工具の準備

作業を始める前に必ず用意してください

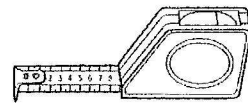
・⊕ドライバー



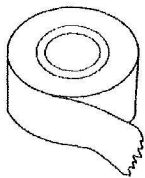
・スパナ (対辺10mm)
(ℓ=120mm程度)



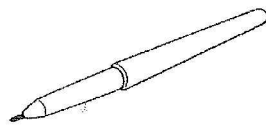
・スケール



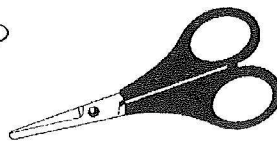
・マスキングテープ等



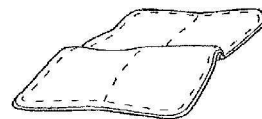
・水性ペン



・ハサミ



・ウェス (柔らかい布)

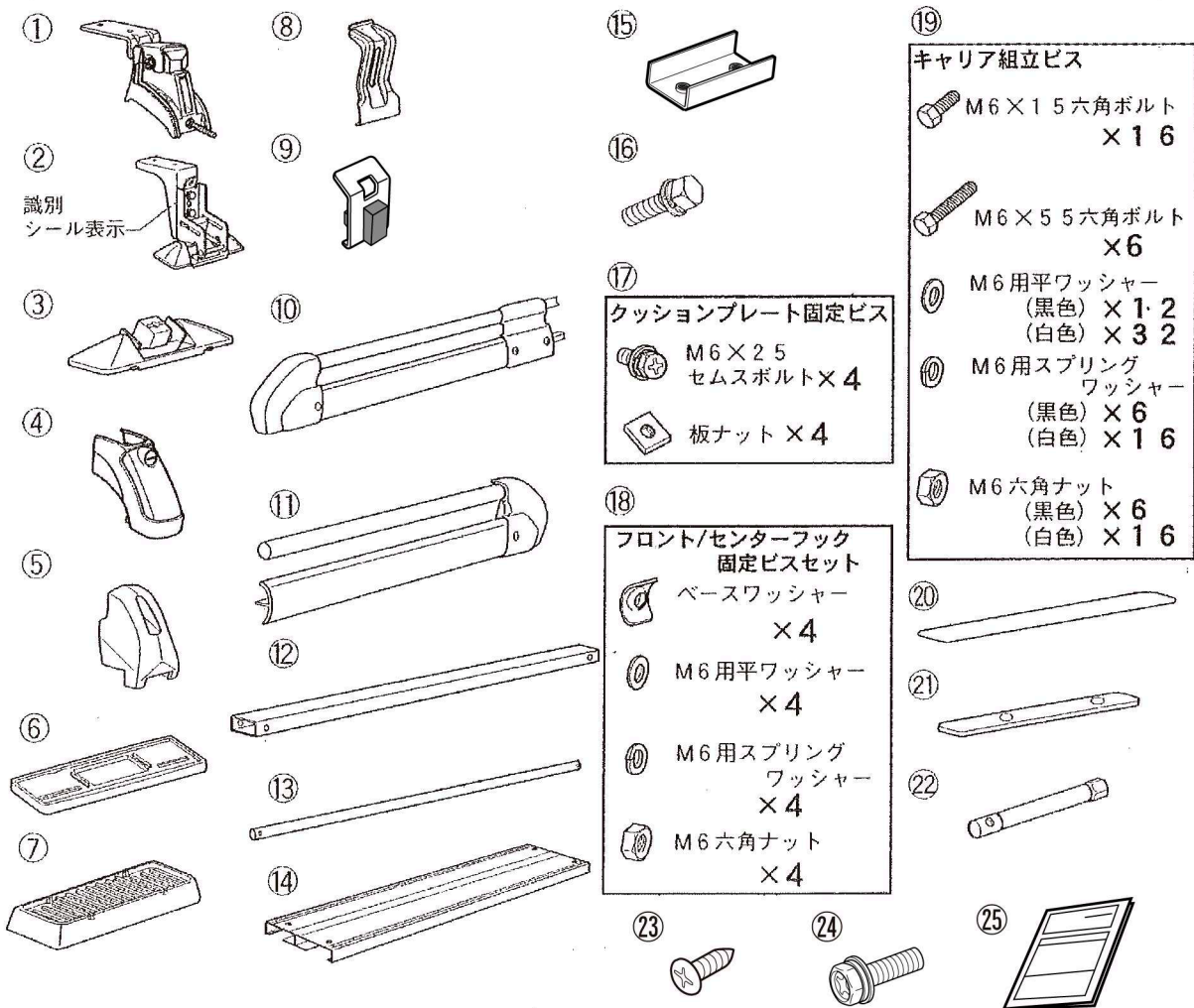


構成部品表の確認

⚠注意

- 車種に適合したルーフキャリアを使用しないと、車両への取付けはできません。別表の車種適合表をよく読み、車両と適合していることを確認してください。
- 前後左右、位置指定のある部品の組付けは、位置に注意してください。この場合の前後とは、車両の前後に準じます。左右とは、運転席からみた、車両進行方向に対してのものです。
- 構成部品表の部品が全部あるか、また汚れ、キズ、損傷がないか確認してください。万一、不足部品がありましたら、本書記載のお問い合わせ先にご連絡ください。

No	部 品 名	数量	No	部 品 名	数量
①	脚 Assy(フロント/センター用)	4	⑭	床板	4
②	脚 Assy (リヤ用) (識別シール表示)	2	⑮	スライド金具	6
③	クッションプレート	4	⑯	M6×15セムス六角ボルト	2
④	脚カバー (フロント/センター用)	4	⑰	クッションプレート固定ビスセット	1set
⑤	脚カバー (リヤ用)	2	⑱	フロント/センターフック固定ビスセット	1set
⑥	クッションベース (リヤ用)	2	⑲	キャリア固定ビスセット	1set
⑦	クッションベース (フロント/センター用)	4	⑳	フレームパット	3
⑧	フック (フロント/センター用)	4	㉑	パット	8
⑨	フック (リヤ用)	2	㉒	取付工具	1
⑩	横枠 Assy(A)	2	㉓	M5×16ナット×小タッピングネジ	4
⑪	横枠 Assy(B)	2	㉔	M6×20セムスボルト	12
⑫	フレーム角パイプ	3	㉕	取扱説明書	1
⑬	前後枠パイプ	2			

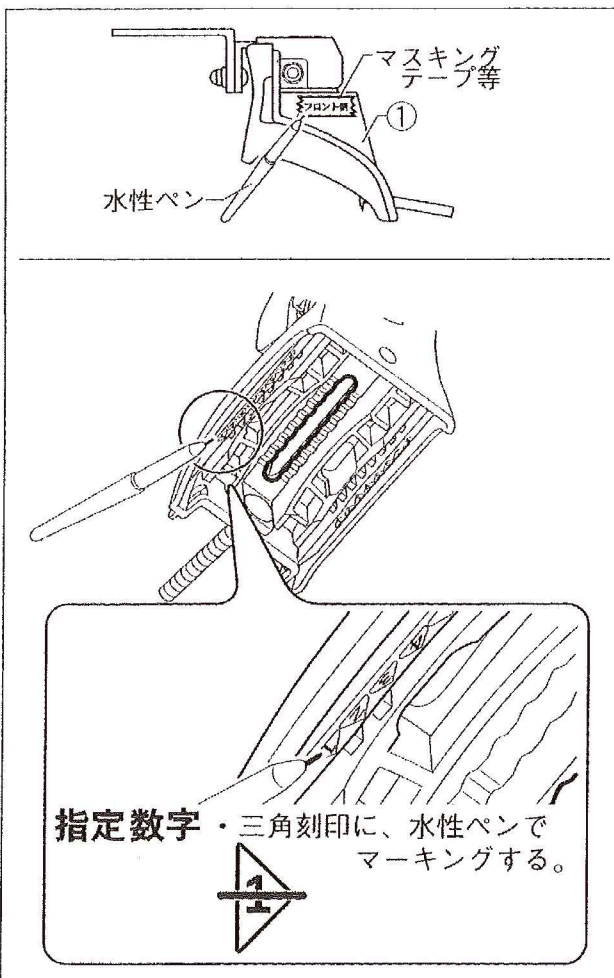


組立手順

⚠注意

- 組立作業は、障害物のない安全を確保できる場所で行ってください。
- 車両エンジンは停止させ、シフトレバーをニュートラル又はパーキングポジションにし、サイドブレーキをかけ、キーを抜いてください。
- ルーフキャリアを車両に載せる際は、必ず2人以上で安全に効率良く行ってください。
- 取付作業は、平らでドアの開閉に支障のない安全を確保できる広い場所で行ってください。
- 公道での作業は絶対にしないでください。
- 商品の取扱いは、落としたりキズをつけないよう十分に注意してください。
- 長時間ドアを開けておくと、バッテリー上がりの原因となりますのでご注意ください。

1.組立準備



(1)脚Assy①にフロント、リヤの識別がわかるようにマスキングテープ等に水性ペンで印を付けます。

(2)下表より、取付車両の指定数字を確認し、『P9-2クッションプレートの固定位置』の表に記入し、脚の指定数字部に水性ペンでマーキングしてください。

	フロント	センター
ADバン		
ファミリアバン	3	3
レオーネバン		
エキスパート	1	1

組立手順

2.クッションプレートの固定

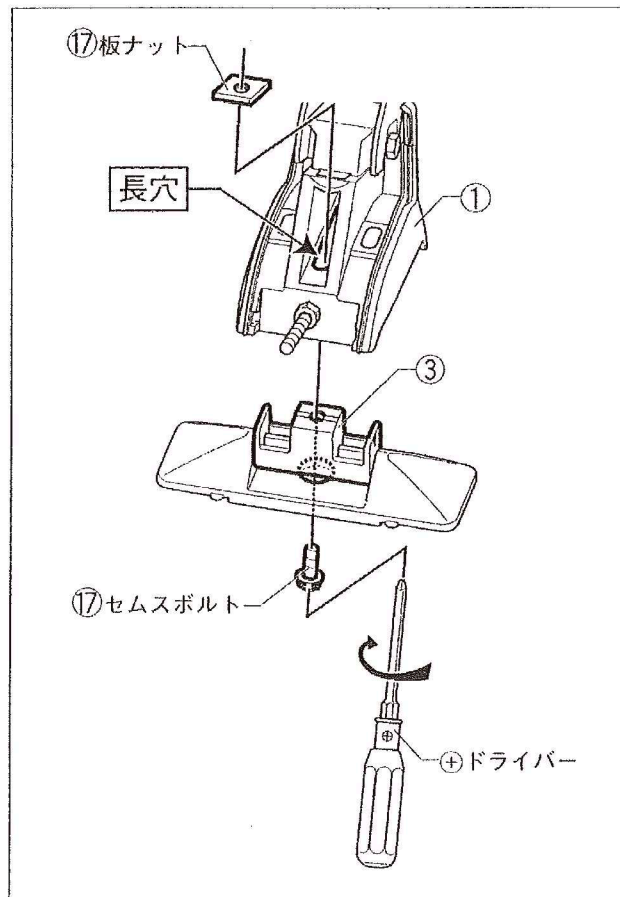
⚠警告

- クッションプレートの固定位置は大変重要です。正しい位置に固定してください。固定位置が不正確な場合、走行中ベースキャリアの脱落、ズレ等の原因となります。

⚠注意

- 車両によってクッションプレートの固定位置が異なります。別紙車種別寸法表より、取付車両の指定数字を確認し、下表に記入の上、作業してください。不正確な取付は、ベースキャリアの脱落等の原因となりますので、確実に指定位置で固定してください。
- クッションプレートステーの固定位置

フロント側	
リヤ側	



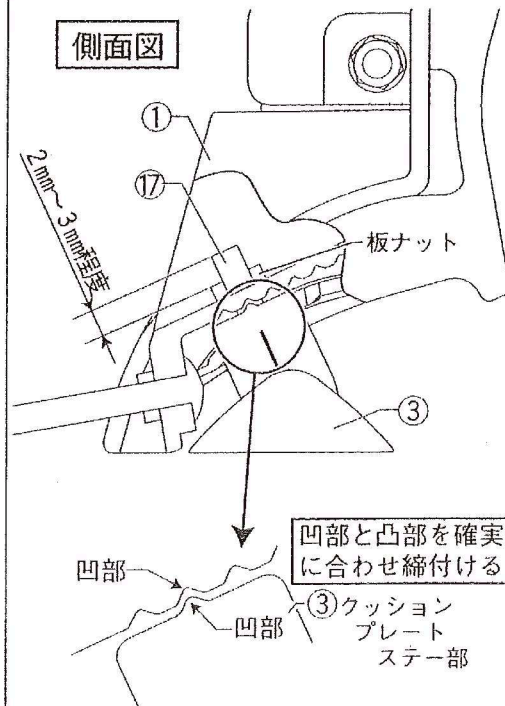
- (1)脚①の長穴に、板ナット①を載せます。
- (2)クッションプレート③の底面穴部よりボルトを通し、⊕ドライバーで仮締めします。
(4ヶ所)

※取付けは次ページと併せてご覧ください。

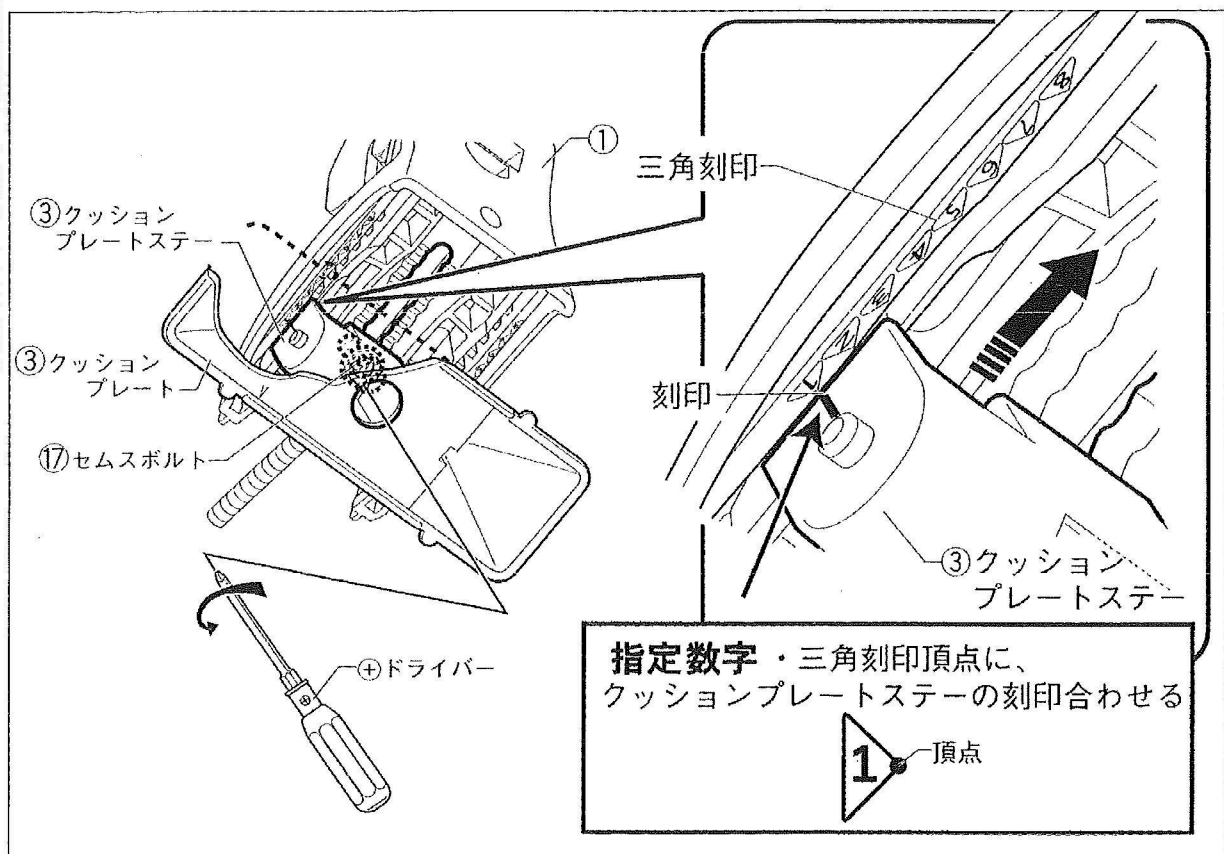
👨‍🔧アドバイス

- クッションプレート③を組付ける際は、ボルトの先端が板ナットより2mm～3mm程度突出するまで締付けます。

側面図



組立手順



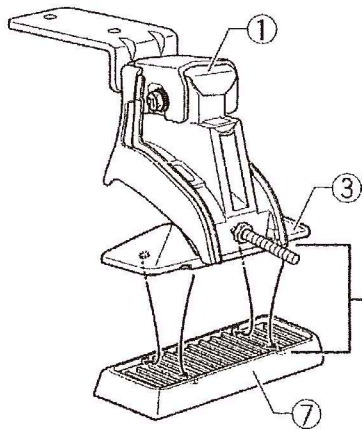
- (1)脚の指定数字・三角刻印頂点に、クッションプレートステー③の刻印を合わせます。
- (2)クッションプレート③の底面穴部より、ボルトを⊕ドライバーで完全に締付け、固定します。(4ヶ所)

参考締付トルク： 3.5 ~ 4 N・m
 (0.35 ~ 0.4 Kgf・m)

組立手順

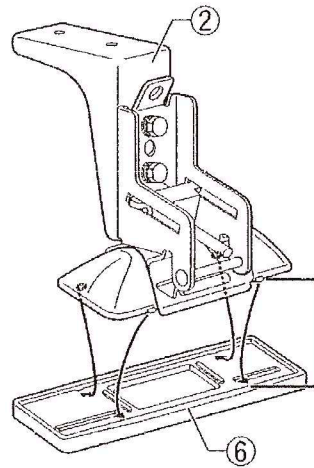
3. クッションベースの取付

フロント/センター用



凸部を凹部に
差し込む

リヤ用



凸部を凹部に
差し込む

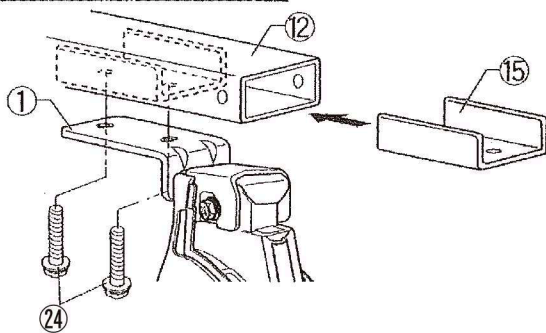
(1)クッションプレート③の凸部をクッションベース⑦の凹部に確実にはめ込みます。(4ヶ所)

(2)脚Assy②、クッションプレートの凸部をクッションベース⑥の凹部に確実にはめ込みます。

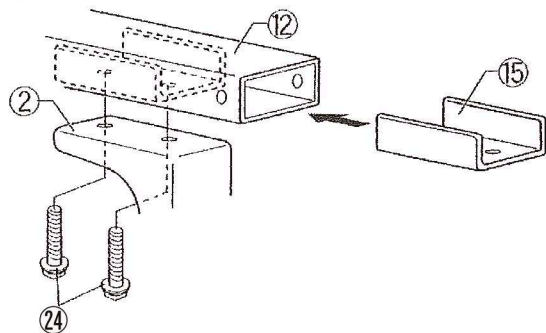
(2ヶ所)

4. フレーム角パイプと脚Assyの組立

フロント/センター用



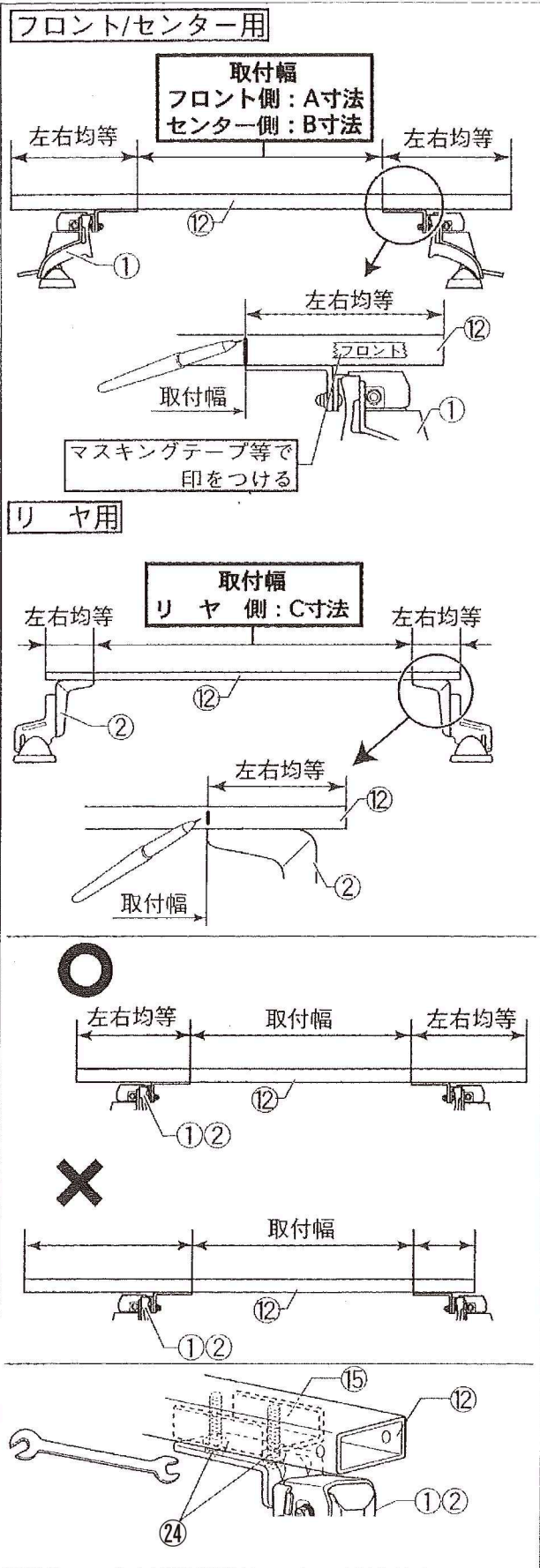
リヤ用



(1) フレーム角パイプ⑫にスライド金具⑮の向きに注意して差し込み、脚 Assy①②をM6×20セムスボルト⑳で仮組みします。

組立手順

5. フレーム角パイプと脚Assyの固定



⚠警告

●取付幅の測定は、ルーフキャリアを取付ける上で大変重要です。取付幅が不正確な場合、走行中ルーフキャリアの脱落、ズレ等の原因となりますので確実に測定してください。

⚠注意

●車両によって取付幅が異なります。別紙車種別寸法表より、取付車両の指定寸法を確認し、下表に記入の上、作業してください。

- (1)脚Assy①にフロント、リヤの識別がわかるようにマスキングテープ等に水性ペンで印を付けます。
- (2)フレーム角パイプ⑫の側面に、取付幅を測定し、水性ペンでマーキングをします。
 - ・フロント側：A寸法
 - ・センター側：B寸法
 - ・リヤ側：C寸法

⚠注意

●脚Assy①②の位置は、フレーム角パイプ⑫の中心に対して、左右均等になるように固定してください。片寄った取付けは、キャリアの脱落等の原因となります。

- (3) フレーム角パイプ⑫と脚 Assy ①②を仮組みしてある、M6×20セムスボルト⑳を締め込み、固定します。

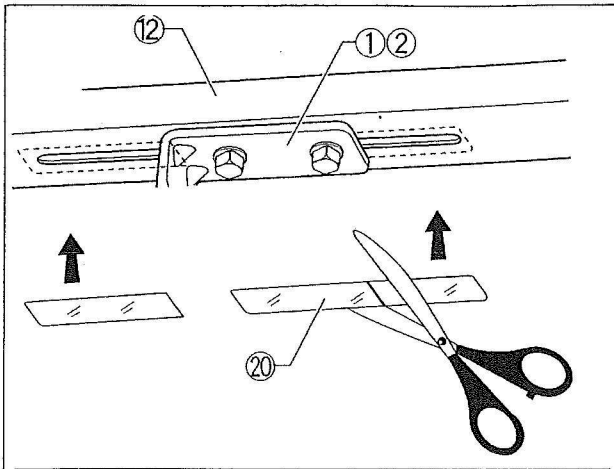
参考締付トルク：5.0 N・m
(0.5 Kgf・m)

取付幅

	A寸法	B寸法	C寸法
ADバン			
ファミリアバン	725mm	710mm	705mm
レオーネバン			
エキスパート	785mm	765mm	735mm

組立手順

6.脚Assyの組付とフレームパットの貼付



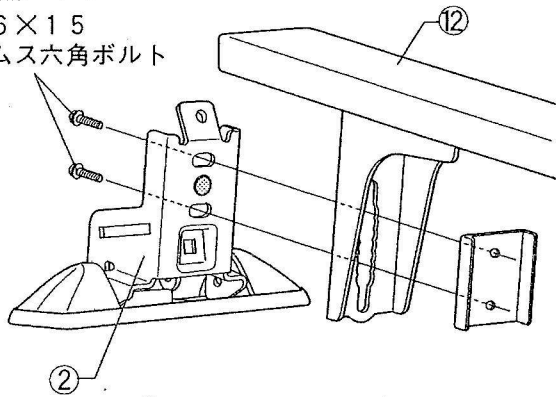
(1)キャリア脚部の脚Assy①②とフレーム角パイプ⑫を固定している部分の隙間（長穴部）に、フレームパット⑳を図のように、隙間の長さより10mm程度長めにカットして貼付けます。（計12ヶ所）

アドバイス

- フレームパット⑳を貼らないと走行中、気象条件により、風切音が発生する場合があります。必ず、フレームパット⑳を貼付けてください。

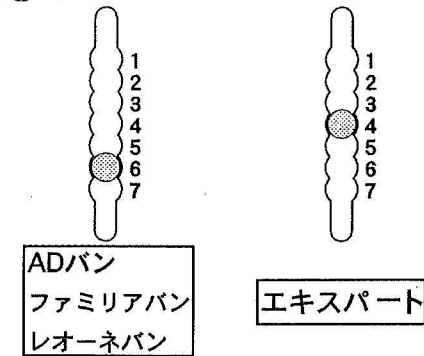
リヤ用

M6×15
セムス六角ボルト



(2)脚Assy②（リヤ用）を組み付けているM6×15セムス六角ボルトを外します。
(3)脚Assy②裏側の凸部（図斜線部）を、左図穴位置に合わせ、脚Assy②より外した、M6×15セムス六角ボルトで仮組みします。

- ・ADバン
- ・ファミリアバン : 6段目
- ・レオーネバン
- ・エキスパート : 4段目

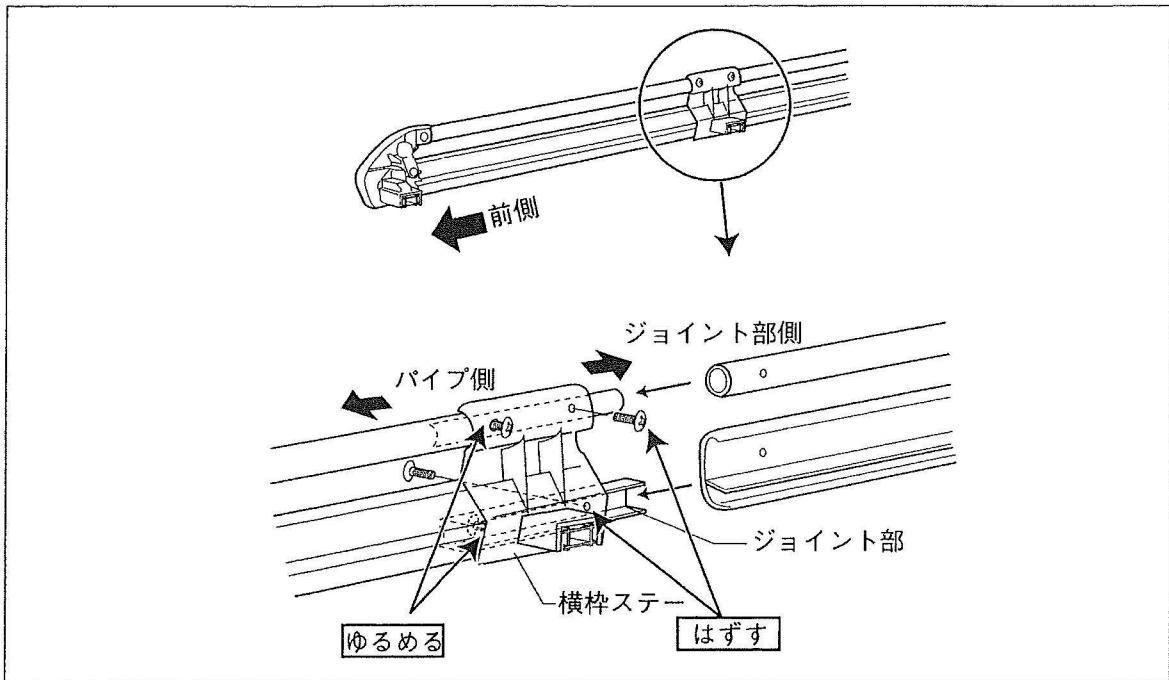


ADバン
ファミリアバン
レオーネバン

エキスパート

組立手順

7.横枠Assyの組立

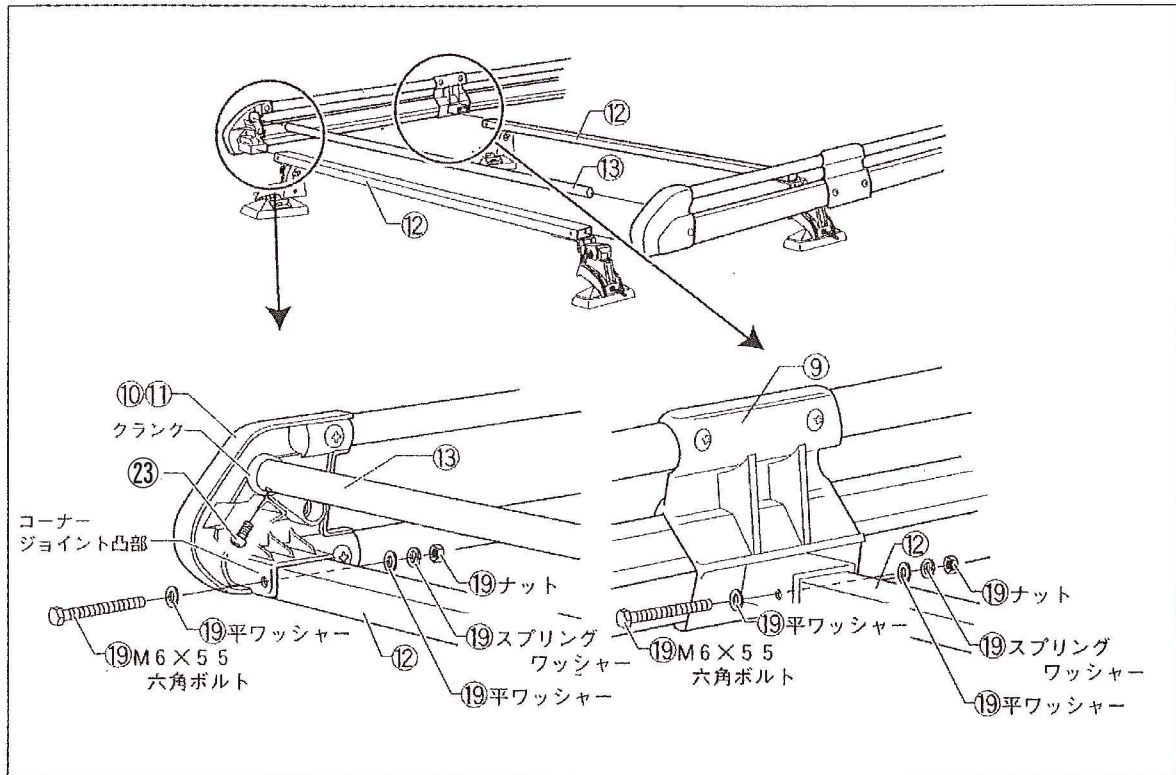


- (1)横枠Assy⑩⑪の横枠ステーのパイプ側内面・上側及び外面・下側のビスをゆるめます。
- (2)横枠Assy⑩⑪の横枠ステーのジョイント部側内面・上側及び外面・下側のビスをゆるめ、はずします。
- (3)横枠Assy⑩⑪のジョイント部にパイプ部上下2ヶ所差し込みます。
- (4)ゆるめたビス及びはずしたビスを締込み、完全に固定します。

参考締付トルク：3.0 N・m
(0.3 Kgf・m)

組立手順

8.横枠Assyと前後枠パイプ・フレーム角パイプの組付



- (1)横枠Assy⑩⑪コーナージョイント凸部とクランクに、前後枠パイプ⑫と5.の作業で組立てたフレーム角パイプ⑫のフロント用、センター用、リヤ用各々の使用位置を確認し、組付けます。
- (2)前後枠パイプ⑬を、M5×16ナベ小タッピングネジ⑬で締付け、固定します。(4ヶ所)

注意

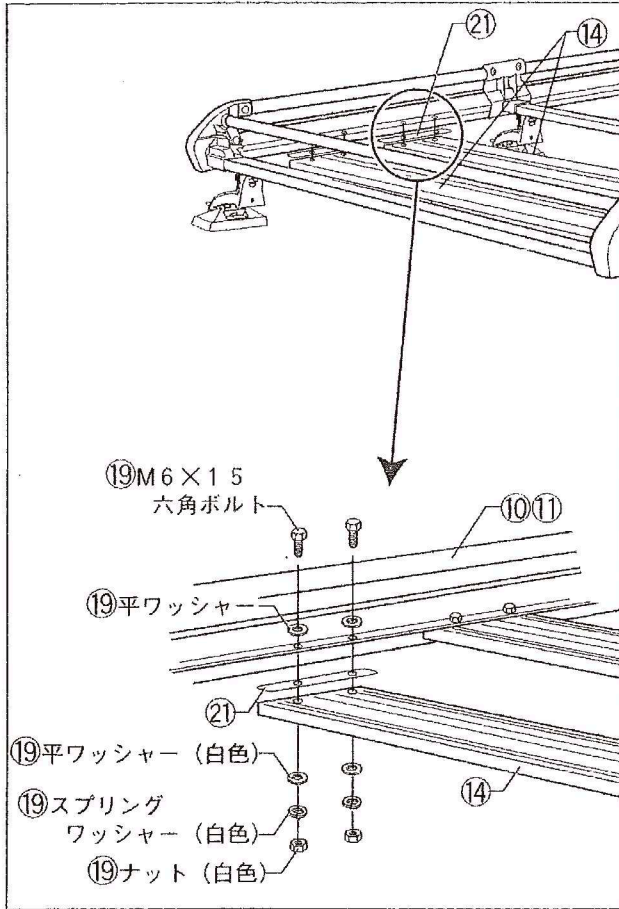
ドライバーで確実に締付けてください。参考締付トルク：2.5Nm～3.0Nm インパクトレンチなどの工具は使用しないでください。

- (3)脚Assy①②の識別シールを確認し、各々の使用位置のフレーム角パイプ⑫の横穴と、横枠Assy⑩⑪をM6×5.5六角ボルト⑱、M6用平ワッシャー⑱(黒色)、M6用スプリングワッシャー⑱(黒色)、M6ナット⑱(黒色)で締付け、固定します。(6ヶ所)

参考締付トルク：5.0N・m
(0.5Kgf・m)

組立手順

9.床板の組付



(1)横枠Assy⑩⑪と床板⑭の間にパット⑳を入れ、M6×15六角ボルト⑲、M6用平ワッシャー⑲(白色)、M6用スプリングワッシャー⑲(白色)、M6ナット⑲(白色)で締付け、固定します。(16ヶ所)

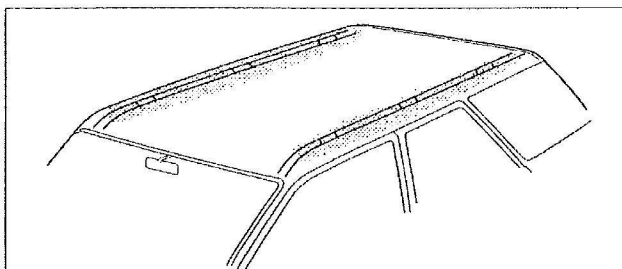
参考締付トルク：3.0 N・m
(0.3 Kgf・m)

車両への取付

⚠注意

- 車両のエンジンは停止させ、シフトレバーをニュートラル又はパーキングポジションにし、サイドブレーキをかけ、キーを抜いてください。
- ルーフキャリアを車両に取付の際は、必ず2人以上で安全に効率良く行ってください。
- 取付作業は、平らでドアの開閉に支障のない安全を確保できる広い場所で行ってください。
- 公道での作業は絶対にしないでください。
- 商品の取扱いは、落下したりキズをつけないよう十分に注意してください。
- 長時間ドアを開けておくと、バッテリー上がりの原因となりますのでご注意ください。

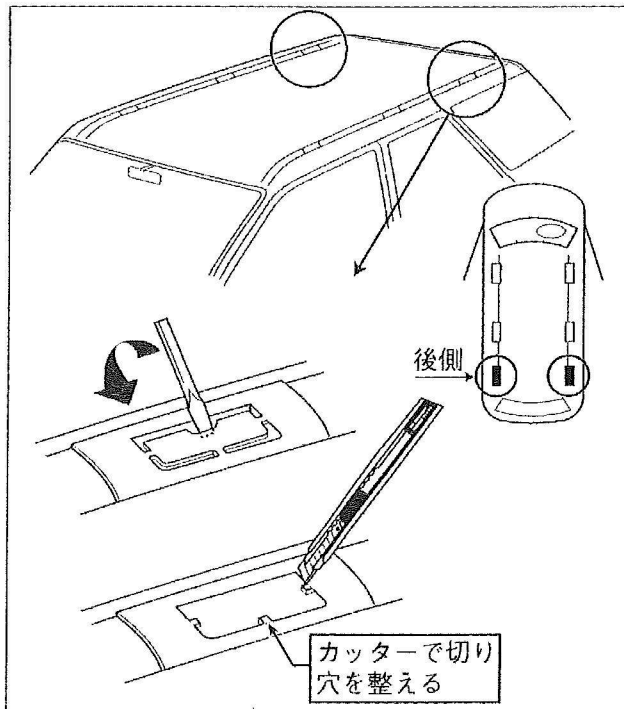
1. 車両取付位置周辺の清掃



- (1) キャリア取付位置周辺の清掃をします。
(図斜線部)

ウェスに水をよくふくませ、ワックス・ホコリ・汚れをよく拭き取り、乾燥させてください。

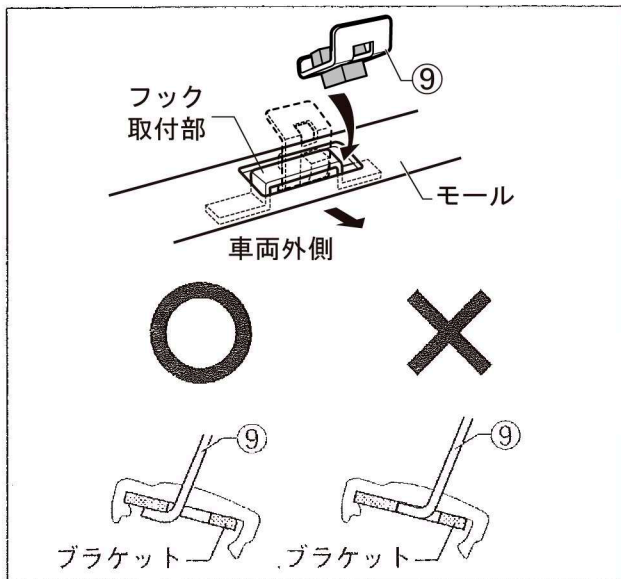
2. キャリア取付位置の加工



- (1) ルーフキャリア取付位置を確認します。
ルーフ上にキャップが左右6ヶ所ありますが、そのうちの一番後側の左右2ヶ所のキャップ位置が、ルーフキャリアのリヤ脚の取付位置になります。
- (2) キャップ中心の穴にマイナスドライバーを差し込み、キャップに角長穴を開けてください。 (2ヶ所)
- (3) 角長穴に残った突起を、カッターで切り穴を整えてください。 (2ヶ所)

車両への取付

3. 車両へのフック取付

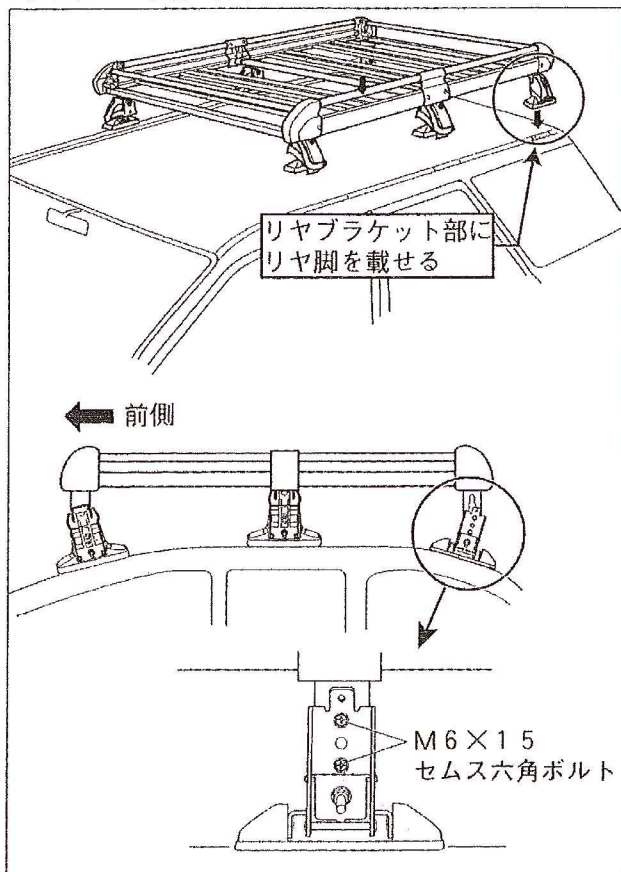


- (1)フック⑨を、車両後側の角長穴に差し込み、内側のブラケットに引っ掛けます。
(左右2ヶ所)

⚠注意

- フック⑨の下部は必ず車両ブラケットに引掛けてください。ルーフモールに引掛けて取り付けると、ルーフキャリアの脱落の原因になりますので、必ず確認してください。

4. キャリア取付 (1)



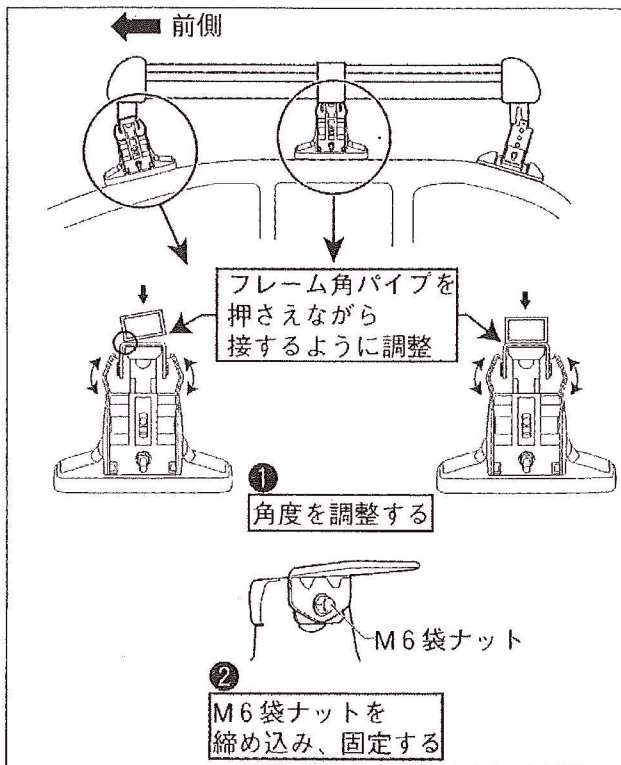
- (1)組み立てたキャリアの前後を確認し、後側脚を、車両後側の角長穴中心に合わせて載せます。

- (2)キャリアの中心と車両の中心を合わせます。

- (3)仮組みしてある脚Assy②の角度をルーフの傾きに沿うように調整し、M6×15セム六角ボルトを固定します。

車両への取付

5. キャリア取付 (II)



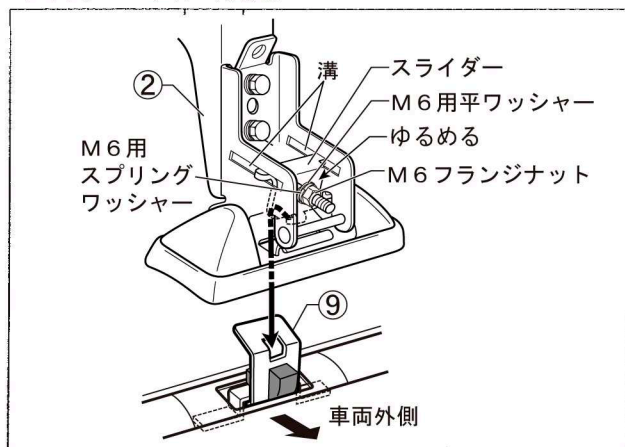
(1) 仮組みしてある脚Assy①の角度をルーフの傾きに沿うように調整し、M6 袋ナットを固定します。

警告

- 脚Assy①とフレーム角パイプが、接するように角度調整をしてください。
角度調整が不正確で、脚Assy①とフレーム角パイプが、接していない場合、車両への取付けが出来なかったり、走行中ルーフキャリアの脱落、ズレ等の原因となりますので確実に作業してください。

参考締付トルク：3.5～4 N・m
(0.35～0.4 Kgf・m)

6. 車両への取付 (後脚)



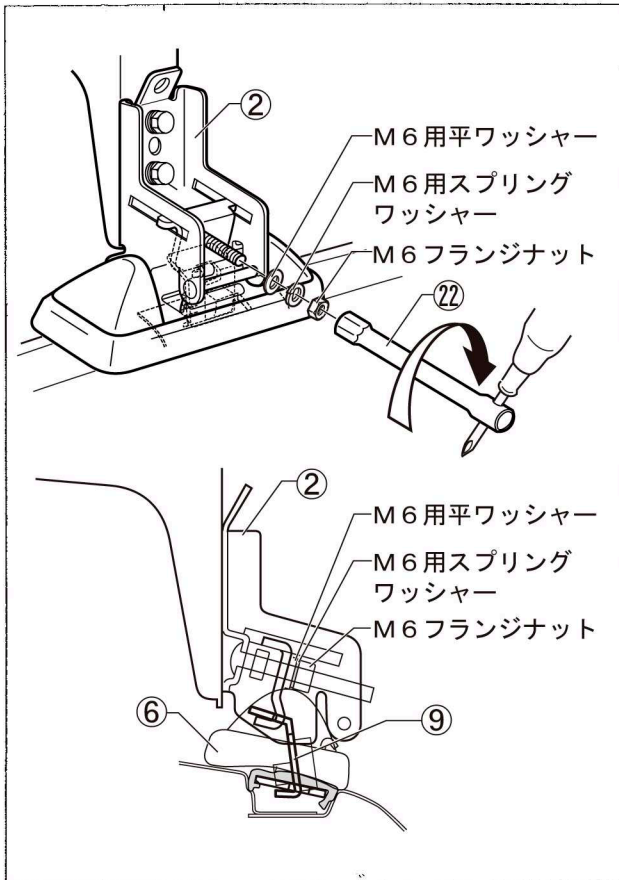
- (1) スライダーを固定しているM6用平ワッシャー、M6用スプリングワッシャー、M6フランジナットをゆるめ、スライダーを前に出します。
- (2) フック⑨の使用位置を確認し、脚Assy②のスライダーにしっかり引っ掛けます。

注意

- スライダーが溝から落ちないように充分注意してください。
- フック⑨はスライダーに確実に引っ掛けたことを確認し、車両に取付けてください。走行中キャリアの脱落ズレ等の原因となります。

車両への取付

7.車両への固定（後脚）



⚠注意

- M6フランジナットは、締め込みが均等になるよう、必ず左右交互に締め込んでください。片側を締め込んでから、反対側を締め込む方法では、確実な固定はできません。

- (1)フック⑨がスライダーに確実に引っ掛かっていることを確認します。
- (2)M6用平ワッシャー、M6用スプリングワッシャー、M6フランジナットを、取付工具②で、M6用スプリングワッシャーがつぶれるまで締め込み、固定します。

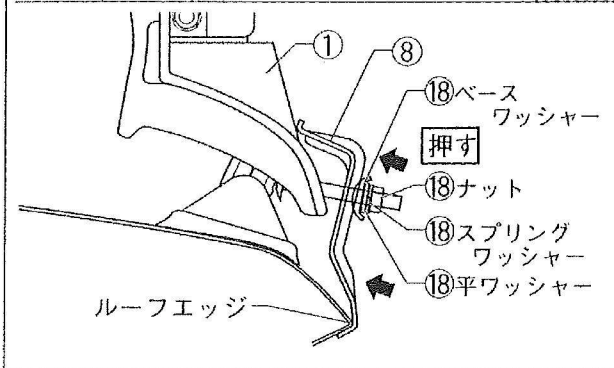
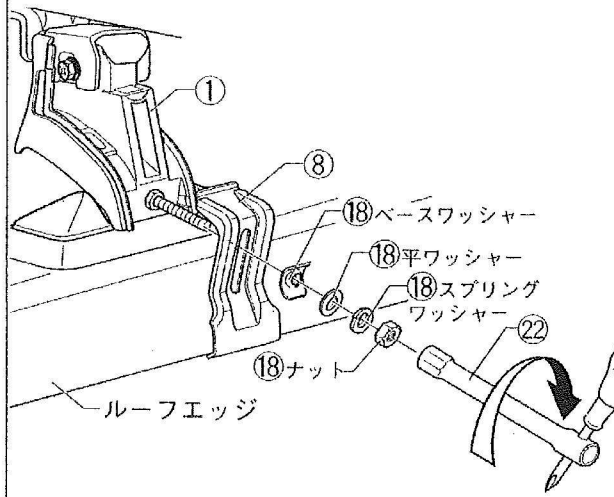
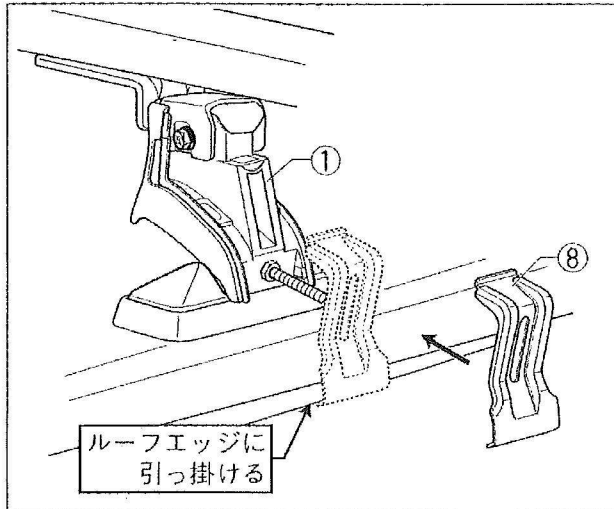
参考締め付トルク：5.0 N・m
(0.5 Kgf・m)

👨‍🔧アドバイス

- リヤ脚は、脚部後端がバックドア上部に載ってしまいますが、キャリアの性能性及びバックドア開閉作業に問題はありません。

車両への取付

8.車両への固定（前/中央脚）



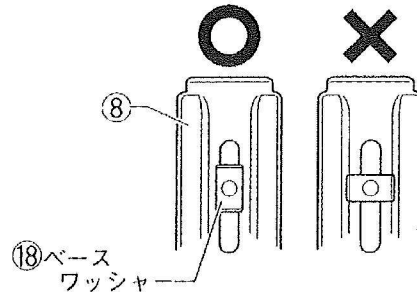
(1)フック⑧をルーフエッジに引っ掛けます。

- (2)脚ボルト部にフックをしっかり引っ掛けます。
 (3)脚ボルト部にプレートナット⑱、平ワッシャー⑱、スプリングワッシャー⑱、ナット⑱を通します。
 (4)フック⑧を➡の方向に押しながら、ナット⑱を締め、固定します。

参考締め付トルク：3.5～4 N・m
 (0.35～0.4 Kgf・m)

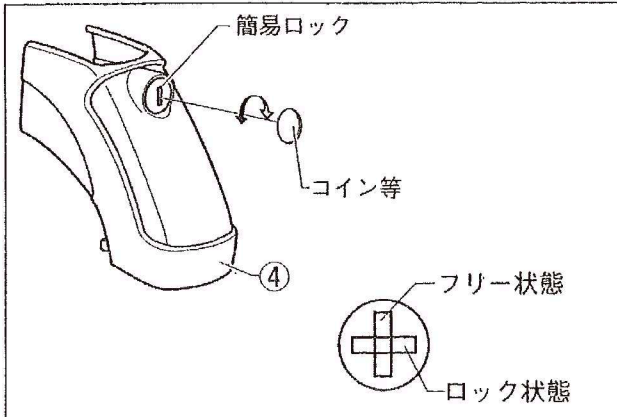
⚠注意

- ナット⑱は締め込みが均等になるよう、必ず左右交互に締込んでください。片側を締込んでから、反対側を締込む方法では、確実な固定はできません。
- ベースワッシャー⑱の向きに注意してください。誤った取付けでは確実な固定ができません。



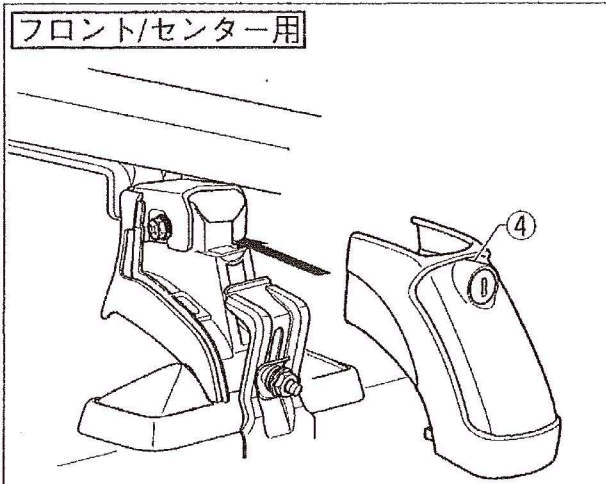
車両への取付

9. キーロック方法



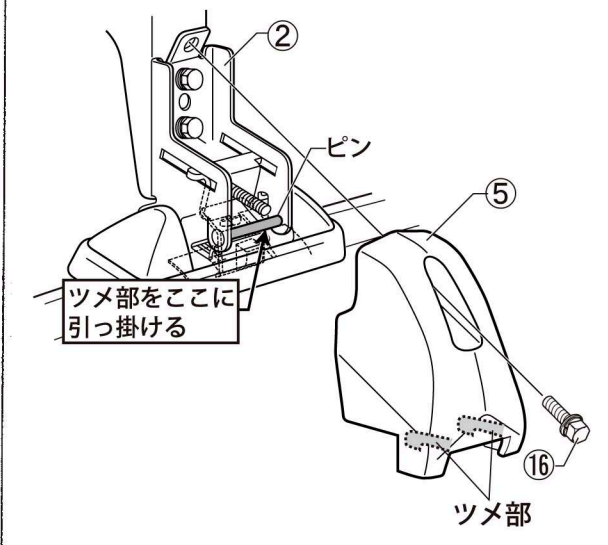
- (1) コイン等で脚カバー④の簡易ロックに差し込み、90度（時計方向）まわすとロック状態になり、逆の作業でフリー状態になります。

10. 脚カバーの取付



- (1) 脚カバー④のロックをフリー状態にします。
- (2) 脚Assy①に脚カバー④を確実に取付け、ロックします。 (4ヶ所)
- (3) 脚カバー④がしっかり取付けられているか、確認します。 (4ヶ所)

リヤ用

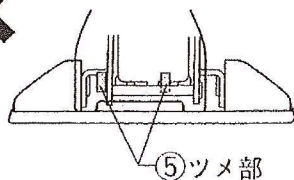
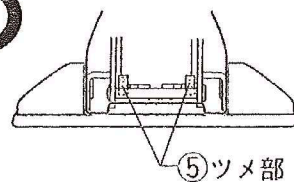


- (1) 脚カバー⑤のツメ部を脚Assy②のピン（左図斜線部）に引っ掛けます。
- (2) M6×15 セムス六角ボルト⑯で締込み、固定します。

参考締付トルク：5.0 N・m
(0.5 Kgf・m)

⚠注意

- 脚カバー⑤のツメ部は、脚Assy①の内側に収まるよう確実に引っ掛けてください。



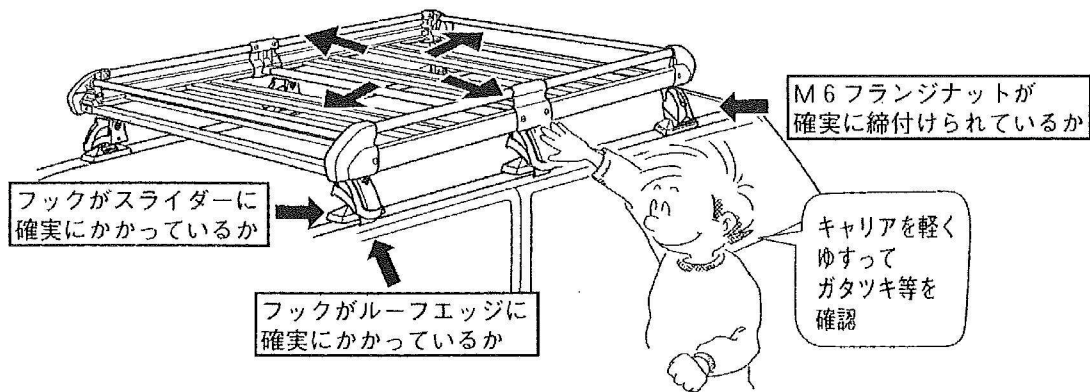
取付後の確認

⚠注意

●取付作業終了後、取付状態の確認をしてください。取付けが正しくできていない状態でご使用になりますと脱落等の事故につながるおそれがありますので、必ず下記の要領で確認作業を行ってください。

(1)取付状態及びボルト類の締付け状態を必ず再確認をしてください。

- 1.フックが確実にスライダーに引っ掛かっているか確認。
- 2.フックが確実にルーフエッジに引っ掛かっているか確認。
- 3.M6フランジナットが確実に締付けられているか確認。



(2)指定位置に取付けられているか確認してください。

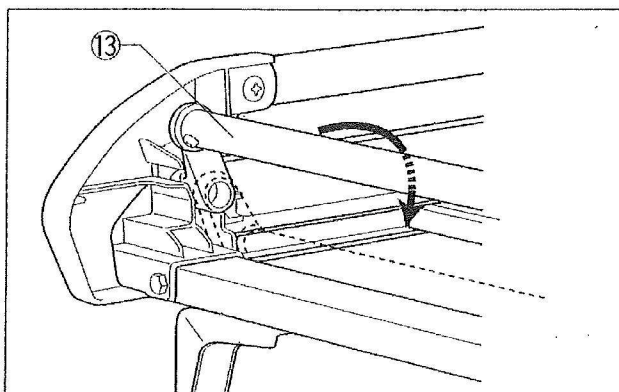
(3)ルーフキャリアに異常がないか、脚部を軽くゆすりガタツキ等がないことを確認してください。

(4)上記(1)~(3)において異常が認められた場合、「組立手順」、「車両への取付」の項目に戻り、必ず再度作業を行ってください。

取扱方法

📖 知識

●ルーフキャリアの前後枠パイプ⑬は、回転させることにより上下に移動します。積載物に応じて上又は下の位置でご使用ください。



(1)積載物に応じて、前後枠パイプ⑬の位置を変えてください。

取扱上の確認事項及び注意事項

△注意

(1) 走行前の注意と確認

- 最大積載物重量は 5.0 kg までですので過積載しないでください。
- 積載物の大きさは下記の制限を超えないようにしてください。

積載物の大きさ（道路交通法施行令第22条3項）

長さ	：	自動車の長さとその10分の1の長さを加えたもの
幅	：	自動車の幅
高さ	：	3.8 mからその自動車の積載する場所の高さを減じたもの (軽自動車は2.5 mから)

- 初期ユルミが発生する場合がありますので増し締めを実施してください。
走行前はキャリアのボルト類を点検し、ユルミがある場合は増し締めしてください。
(100 km程度走行時目安)
- 荷物の積載はドアの開閉、人の乗降、トランク、ボンネットの開閉、荷物の出し入れに支障のない積み方にしてください。また、積載物の積み降ろしには頭上における動作となる為、充分安全に注意し、2人以上で行ってください。
- 積載物は必ずロープ、ベルト等でしっかりと固定してください。
- サンルーフ車の場合、開閉、チルトアップはできません。積載物と干渉する場合があります。

(2) 走行中の注意と確認

- ルーフキャリア装着時、急ハンドル、急発進、急ブレーキは避け、運転には充分ご注意ください。特に急カーブや悪路走行、強い横風、向かい風を受ける場合は運転特性を損なう事がありますのでスピードを十分に抑えて走行してください。
- ルーフキャリア装着時には、トンネル、立体駐車場等の高さ制限がある場所では、制限内であることを確認をしてください。

(3) 洗車時の注意

- ルーフキャリア装着時は自動洗車機における洗車は出来ません。ルーフキャリアを外すか手洗いしてください。

(4) メンテナンスについて

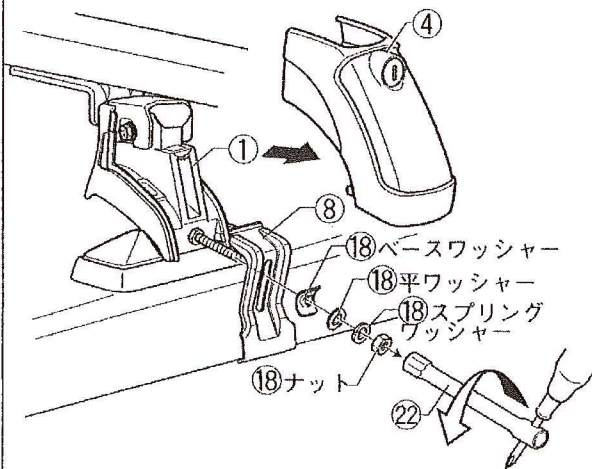
- ルーフキャリアの塗装及びコーティングにキズ等が付きまじたら、錆びの原因となりますので、タッチアップペイント等でキズ等を修正してください。
- 汚れを拭き取る場合は、中性洗剤を使用して柔らかい布か、スポンジで拭き取ってください。尚、レザーワックス、タイヤワックス及びシンナー等、有機溶剤は使用しないでください。
- ボルト類は、時々動かしてください。長期間放置しますと、異物等により、作動しなくなる場合があります。

取外方法及び保管

アドバイス

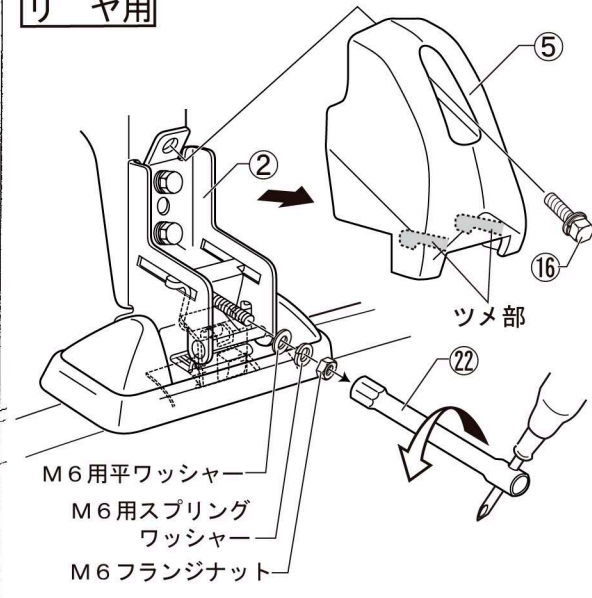
- 取外しの際は2人以上で作業されますと安全に効率よく作業が行えます。
- 取外しの際、車両及びルーフキャリアにキズを付けないよう注意してください。
- アジャストボルトは脚に付けたままの状態にしてください。
- ルーフキャリアを外して保管する場合はきれいに清掃し、新聞紙等でくるみ、水気のない所に保管してください。
- 外した部品は紛失しないようにしてください。
- 再取付のために本書も一緒に保管してください。

フロント/センター用



- (1)積載物をルーフキャリアから全て降ろしてください。
- (2)脚カバー④を外します。
- (3)ナット⑱、M6用スプリングワッシャー⑱、M6用平ワッシャー⑱をゆるめ、フック⑧を外します。
- (4)脚カバー⑤を固定しているM6×15セムス六角ボルト⑯をゆるめ、脚カバー⑤を外します。
- (5)取付工具⑳で、M6フランジナット、M6用スプリングワッシャー、M6用平ワッシャーをゆるめ、フック⑤⑥を外します。
- (6)ルーフキャリアを車両から降ろします。
- (7)外したナット類、脚カバー④⑤は脚部に仮付けておいてください。

リヤ用



再取付時の注意

△注意

- 再取付けの際は全ての構成部品がそろっていること及び損傷が無いか確認してから本書に従って作業してください。部品の紛失・損傷がある場合には、商品購入先の販売店にお問い合わせいただき、部品の補充をしてください。

お問合せ先

- 本製品及び補修部品の仕様と外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本品についてのご不満、ご希望、ご意見などがございましたら、本書記載のお問合せ先へお問合せください。なお、本書記載事項を守らなかった為に発生した不具合・事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。
- 部品の紛失・損傷の場合には、商品購入先の販売店又は、本書記載のお問合せ先にお問い合わせください。

製造・販売元

お問合せ先

SEIKOH
精興工業株式会社

〒134-0091

東京都江戸川区船堀4-9-10

☎ (03) 3687-5551(代)

FAX (03) 3680-7577

URL <http://www.seikokogyo.co.jp/>